

作品介绍



道路の下に

長崎県立諫早高等学校
2年 荒木 楓雅 (アラキ フウガ)

工事現場の見学をさせていただいて、いつも何気なく歩いている道路の中身を初めて見て鉄筋が等間隔で並んでいて迫力を感じました。また、この一面に並んでいる鉄筋を組み立てるのは大変な作業なんだろうなと思いをされている方はすごいなと感じました。毎日利用している道路の下にはこの鉄筋があってそれを造っている人がいるおかげで丈夫な道路が使えるということ意識してこれからすごしていきたいと思いました。



道路の強さの礎

長崎県立諫早高等学校
1年 藤山 葵 (フジヤマ アイ)

鉄筋をひとつひとつ手作業で繋げているのを見てとても驚きました。鉄筋を繋げる作業は、道路工事の基盤であり、この写真のこの一瞬が私たちにとってどれだけ欠かせないものであるのかを実感させてくれます。また、このような道路工事のプロセスの一端を垣間見ることが出来てよかったです。



一所懸命

長崎県立大村高等学校
1年 金子 茉奈 (カネコ マナ)

工事は大人数だと思っていたけど少ない人数でもできるんだと思いました。作業はとても早いのに丁寧に綺麗に繋がらなくて安全に気をつけながら力を合わせて作業をしていますすごいなと思いました。



おどろき

長崎県立大村高等学校
2年 御厨 彩葵 (ミクリヤ サキ)

バックホウで2mの縁石を持ち上げたり、物と物のあいだに砂を入れたりと細かい作業をしていて、職人技などおどろきました。協力し合って私たちが毎日通る道ができるのだと思うとすごいなと感じました。



人魚のように

長崎県立長崎東高等学校
2年 渡部 光 (ワタベ ヒカル)

潜水士が海の中へ潜っていくときの一枚。海の中のブロックを撤去する作業で、潜水士は海中の様子やブロックの様子を地上にいる作業員やクレーンの操縦士に合図を出すために潜っている。水中で泳ぎやすいように足ひれ(フィン)をつけている。クレーンの操縦室からシャッターを切ったが、そこから見える潜水士の姿がまるで人魚のようだった。



第二の手

長崎県立長崎東高等学校
2年 渡部 光 (ワタベ ヒカル)

撤去するブロックをクレーンで浚渫船へ移しているときの一枚。何十トンもあるブロックを手元のレバーを駆使して運んでいる。少しでも操作を誤ってしまうと惨事になりかねない。操縦士は大きいクレーンを自分の手であるかのように、慣れた手つきで慎重に動かしていた。淡々と仕事を終えた操縦士の姿はとてもかっこよかった。



Instagram 連動企画

青春 BUILD プロジェクト ～高校生が見た土木の世界～



諫早高校写真部のみなさんと (於:長崎県諫早市森山町)

ラブラブ土木ーみなさんこんにちは、土木学者のデミー博士です。今回は、普通科高校の写真部の生徒が「はじめて見た土木の世界」をきり撮った写真をおして土木の魅力を伝える「青春BUILDプロジェクト」をお届けします。

土木は、私たちの暮らしに欠かせないものです。しかし、土木業界で働く人が減っています。また、子供たちが憧れる職業に土木の文字はありません。このままでは、私たちの暮らしは、どうなってしまうのでしょうか？通れなくなった道、飲めなくなった水道水、遊べなくなった公園。激甚化する自然災害やいつ起きてもおかしくない大地震の対応もできなくなるかもしれない。土木の危機は市民の危機です。

そのような中、土木関係者は、認知度向上やイメージアップのための広報活動を精力的に行っています。しかし、土木関係者自身、土木があたりまえになつてしまっているため、魅力や価値を忘れている人が

たくさんいます。そのような人たちが広報を行うても効果的に土木は伝わります。

そこで、プロジェクトでは、長崎(諫早、大村、長崎東)、佐賀(唐津西、武雄)、大分(大分上野丘)の6校の普通科高校の写真部に協力いただき、国土交通省が整備を進める道、河川、港の工事現場で撮影を行いました。高校生は、はじめての土木体験になります。はじめだからこそ、驚きや発見がたくさんあります。その驚きや発見を写真で表現してもらおうと、市民に近い感覚で、自然に土木を届けることができます。

本紙では、長崎県内で撮影された写真の一部を紹介していますが、掲載できていない写真は、プロジェクトのInstagramで公開していきますので、チェックしてください。

高校生が土木をどのように感じ、どのように語り合ったのかをコメントと合わせてお楽しみください。ラブラブ土木ー！



青春BUILDプロジェクトのInstagramのQRコードはコチラ！

Profile

1979年生 / 福岡県出身 / 長崎大学 / 工学博士 / 防災士 / 内閣府地域活性化伝道師 / YouTuber / 国土交通大臣表彰 / 軍艦島 3D でグッドデザイン賞 / コカ・コーラ環境教育賞 / メディア出演 1000 件以上



デミー博士
出木 享
のみず あきら

執筆者紹介